学校番号	405

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新　数学 A　　（数研出版）						
副教材等	改訂版　3ROUND　数学 I+A　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協力し合いながら考える活動を行います。
・「課題を理解する➔結果を予想する➔解決の方向を構想する➔解決する➔解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする数学的活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。そして、また時間をおいてから、もう一度間違った問題に挑戦してみましょう。その繰り返しが大きな学力をもたらしてくれます。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象にはなりません。授業のポイントや自分自身で気付いたことや先生が注意点として発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。その積み重ねを試験前に読み返すことで、授業中に学んだことを復習することが容易にできます。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、論理的に考える資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(a) 集合、場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、日常における事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。

(b) 場合の数や確率で学んだことを実生活に活かし、物事の起こりやすさを論理的に考える力と問題文を読解してどのような状況なのかを判断する理解力、図形の性質で学んだことから様々な平面図形の性質を理解し、１つの図形を多角的に見て処理することで習ったどの性質が適用できるのかを判断する力と複数の性質を繋げることでより深い学びへと昇華する力、数学と人間の活動で学んだことから数の持つ様々な性質を知り実生活へと役立てる力やデジタル化する現実世界の中でどのように応用されているのかを探究する好奇心を身につけ、解決の過程や結果を批判的に観察し判断したりする力を養う。

(c) 数学のよさや数学の有用性を認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	集合、場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	場合の数や確率で学んだことを実生活に活かし、物事の起こりやすさを論理的に考える力と問題文を読解してどのような状況なのかを判断する理解力、図形の性質で学んだことから様々な平面図形の性質を理解し、１つの図形を多角的に見て処理することで習ったどの性質が適用できるのかを判断する力と複数の性質を繋げることでより深い学びへと昇華する力、数学と人間の活動で学んだことから数の持つ様々な性質を知り実生活へと役立てる力やデジタル化する現実世界の中でどのように応用されているのかを探究する好奇心を身につけ、解決の過程や結果を批判的に観察し判断したりする力を養う。	集合、場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動をとおして数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	集合	集合	a 様々な集合に関する記号の意味を理解するとともに、その記号を用いて問題を解いたり、問題の趣旨を理解するための道具として活用したりすることができる。 b 学習した記号やヴェン図を用いて、抽象的な概念を理解するために活用することができる。	定期考査 配布プリント	定期考査 提出ノート	

	第1章　場合の数と確率	第１節　場合の数 １　集合 ２　集合の要素の個数 ３　樹形図、和の法則、積の法則 ４　順列 ５　円順列と重複順列 ６　組合せ	a 順列や組合せの計算を正確に行うことができ、その上でどのような場面でその計算を用いるべきかを判断できる知識をもつことができる。 b 順列、組合せなど学んだ様々な計算方法から問題ごとに何を選択するのかを正確に判断できる論理的思考力をもつことができる。 c 遭遇した問題を現実の自分の生活の一部にあてはめ、どのような場面で使用すればよいのかを考えることができる。	定期考査 配布プリント	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		第２節　確率 ７　確率の意味 ８　確率の計算 ９　確率の基本性質 10　事象と確率 11　独立な試行の確率 12　反復試行の確率 13　条件付き確率 14　期待値	a 様々な確率の計算を正確に行うことができ、その上でどのような場面でその計算を用いるべきかを判断できる知識をもつことができる。 b 確率で学んだ様々な計算方法から問題ごとに何を選択するのかを正確に判断できる論理的思考力をもつことができる。 c 遭遇した問題を現実の自分の生活の一部にあてはめ、どのような場面で使用すればよいのかを考えることができる。	定期考査 配布プリント	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
2学期	第2章　図形の性質	第１節　三角形の性質 １　角の二等分線と比 ２　三角形の外心・内心・重心 ３　チェバの定理・メネラウスの定理	a 平面図形における様々な性質を理解し、問題でそれを利用して長さを求めることができる。 b 学んだ図形の性質から証明などにおいてその特徴を表現することができ、与えられた図形の特徴を考察することができる。 c 学んだ図形の性質から、目の前にある図形がどのような意図で出題されているのかを推測し、小中学生で習ったことと繋げて活用することができる。	定期考査 配布プリント	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

		第2節　円の性質 4　円周角の定理 5　円に内接する四角形 6　円と接線 7　接線と弦の作る角 8　方べきの定理 9　2つの円	a 平面図形における様々な性質を理解し、問題でそれを利用して角度や長さを求めることができる。 b 学んだ図形の性質から証明などにおいてその特徴を表現することができ、与えられた図形の特徴を考察することができる。 c 学んだ図形の性質から、目の前にある図形がどのような意図で出題されているのかを推測し、小中学生で習ったことと繋げて活用することができる。	定期考査 配布プリント	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		第3節　作図 10　基本の作図 11　いろいろな作図	a 基本的な作図を行うことができる b 作図の各過程において、平面図形のどの性質を用いているかを考察できる c 数学で扱う作図と日常において図形をかくことでは、なにが違うかを考えてみようとする	定期考査 配布プリント	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート
		第4節　空間図形 12　空間における直線と平面 13　多面体	a 空間図形における様々な性質を理解し、問題でそれを利用して角度や長さを求めることができる。 b 学んだ図形の性質から証明などにおいてその特徴を表現することができ、与えられた図形の特徴を考察することができる。	定期考査 配布プリント	定期考査 提出ノート	
3学期	第3章　数学と人間の活動	1　約数と倍数 2　素数と素因数分解 3　最大公約数と最小公倍数 4　整数の割り算 5　ユークリッドの互除法 6　1次不定方程式 7　記数法 8　座標の考え方 9　ゲームの中の数学	a 様々な整数の性質を学び、問題においてはその性質を活用することで解決に至ることができる。 b 学んだ整数の性質から数の持つ特徴に興味を示し、実生活の中で活かすことを心がけ、様々な場面で表現することができる。 c 実生活における様々な場面で数字は活用されていることを知り、この章で学んだ知識を応用させようと取り組むことができる。	定期考査 配布プリント	定期考査 提出ノート	提出ノート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度